

# 工学院大附 「DX野球」

**エース**

**大友伸晃**  
(3年)

身長180センチの技巧派右腕。130キロのストレートと軸にスライダー、チェンジアップを投げ込む主戦

**Pick Up!**

**間野成旺惇**  
(3年=捕手)

守備の中心を担う「肩の要」。安定のインサイドワークと鋭い二塁送球で守備を固めていく

**上松城次郎**  
(2年=遊撃手)

軽快なフィールディングをみせる2年生のショートストッパー。兄は富士森(2022年夏)でプレーした

**がんばれマネージャー**

稲垣環(2年) 有田安澄(3年) 西村あおい(2年)



## IoTベースボールで新たなスタイル構築 SNSも積極活用してイノベーション実行

1991年夏に西東京ベスト4となった伝統を持つ工学院大附。選手の意欲を重視するチームは、デジタルトランスフォーメーション(DX)野球で西東京の頂点を狙う。



■学校へのプレゼンでデータ測定器導入  
工学院大附の3年生・前田樹はアナリストとしてフィールドマネージャーを務めている。選手として入部したが、仲間たちをサポートするため1年夏にフィールドマネージャーを志願した。そして、その秋に両宮啓太監督に投球・打撃データ測定器

ラブソード導入を打診した。決して安価ではないため野球部の予算では購入できない。指揮官は、前田や選手たちの声に耳を傾け意見を集約。前田を中心として学校側にプレゼンテーションすることを提案した。前田たちは、ラブソードを活用しているチームから情報を集めて資料を作り上げた。チームを代表して前田が学校長や理事長にプレゼンテーション。その結果、学校や同窓会の協力によってラブソード導入が決まった。

■データを集積し実戦に活用  
目指すのは、デジタルトランスフォーメーション(DX)野球だ。前田は、データ担当マネージャーの海津康介(2年)と共にデータを集積し、実戦に活用すべく準備を進める。前田は「これまで選手の調子の良さは本人の感覚でしか把握できなかったのですが、数字によって判断できるようになりました。データを年間で管理することで、選手の刺激になり、成長につながります。ラブソード導入に協力してくれた学校に

感謝しています。結果を残すことで感謝を伝えたい」と話す。ラブソード導入後、チームはInstagramを利用して積極的に情報発信。選手の日常や取り組みなどを広く伝えている。さらに女子マネージャーの有田安澄(3年)らが、ランメニュー時にグラウンドで音楽を流している。選手にアンケートを取り曲目を設定。プレイリストには「ONE OK ROCK」から「尾崎豊」まで時代を超えた名曲が並ぶ。有田は「選手が結果を残せるようにサポートしていく」と選手と共に夏大会を目指す。

■選手主体のDX野球  
今年のチームは昨秋一次予選で桜美林と対戦して完敗を喫した。再起を誓うチームは冬のオフシーズンを利用して、チーム内での冬季リーグ戦を実施した。全体を3チームに分けて、各チームの「監督」がドラフト会議を実施。途中でトレードを挟むなど戦力調整を行い、実戦形式で経験値を高めた。吉武楽偉主将(3年=

内野手)は「ラブソードを含めてみんなが多くの体験をすることでチームは強くなった。今までやってきたことを発揮して、春・夏に勝ち上がりたい」と士気を高める。両宮監督は「ラブソード導入やSNS活用によって選手が自発的に動く機会が多くなった。選手の「やりたい気持ち」を尊重することによってチームは大きく変わってきた。時代に合った野球部の新しいカタチを築いていきたい」と語る。野球の主役は、選手たち。工学院大附は選手主体のDX野球で、甲子園への道を切り拓く。

工学院大学附属高校  
【住所】東京都八王子市中野町2647-2  
【創立】1944年 【甲子園歴】なし  
八王子に拠点を置く工学院大の附属高校。広大な敷地に、デザイン性の優れた施設が並ぶ。野球部は1991年夏西東京ベスト4。主な野球部OBに元福岡育成の八木健史。

**主将のチーム分析**

**吉武楽偉 主将**  
(3年=一・三塁手)

**春・夏に結果を残したい**

「エースの大友伸晃、キャッチャー間野成旺惇を軸にした守備でリズムを作って攻撃へつなげるチームですが、まだ投打の力が足りません。チームは昨年度からラブソードを導入してデータを活用しながら努力しています。秋の桜美林戦は力負けだったので、精神的にも成長して春・夏に結果を残したいと思います」

IoT 5

打力4

投手力3

機動力3

守備力3

**工学院大附・両宮啓太監督**

**新しい野球部のカタチを作る**

「選手の意欲を大切に、指導者である私たちは選手たちの自主性も大切にして指導しています。学校や関係者の協力によってラブソードを導入することができました。データを見るだけではなく、どのように活用していくかを選手たち自らが考えて活動しています。これからの時代に即した新しい野球部のカタチを作りたいと思います」

1983年東京都生まれ。工学院大附一日体大。現役時代は外野手。八王子シニアで指導者の道をスタート、2013年に母校工学院大附の野球部顧問、2016年秋に監督就任した。